

夢に向かってチャレンジ

関城中学校で立志の集い

2月2日、生涯学習センターペアーノで、関城中学校の2年生による『立志の集い』が開催されました。式典は生徒たちの手作り。自分の夢や目標に向かって努力する決意表明や、大切に育ててくれた両親への感謝の言葉など工夫を凝らした演出でした。また、記念講演会では、オリンピック金メダリストの古賀稔彦さんが講師として登場。柔道を通して味わった苦労や喜び、戦いに挑む前の心構えなどを語りました。最後には、柔道の指導も行われ、生徒たちの良い記念となりました。



思い出づくりのお手伝い

柳田昭さんが特別授業

洋画家・柳田昭さん（玉戸）が母校古里小学校で絵画の特別授業を行いました。柳田さんは、桑山の出身。96年には新人洋画家の登竜門「安井賞」を受賞。現在はフランスなど海外でも創作活動に取り組んでいます。授業では、6年生の卒業制作『思い出の絵本』づくりを指導。さまざまな技法に「同じ絵の具を使っているとは思えない」と児童たちからはため息も。「好きなことをどんどんすればいい」という柳田さんの言葉が、大きな夢を描く子どもたちの背中を後押ししていました。



国際交流ワールドキャラバン

協和国际交流協会

1月28日、協和多目的研修センターで、協和国际交流協会（仙波静会長）の主催による国際理解教育講師等派遣事業（ワールドキャラバン）が行われました。これは、世界の異文化や外国語に触れることを目的に開催されたもので、地域の子どもたちと保護者など約70人が参加。それぞれの国の民俗衣装を身にまとったオーストラリア、モンゴル、タイ、韓国人講師による各国の紹介や、子どもたちによる英語スピーチ、楽器演奏などが行われ、参加者が交流を深めました。



筑西あらがると



おでかけガイド

詳細は変更になる場合があります。事前に確認しておでかけください。

3/3(水) 11(日) 第28回 東光会 茨城県支部展

茨城県つくば美術館 [つくば市TEL 029-856-3711] 開館時間 午前9時30分～午後5時 入場無料 筑西市出身の作家の作品も展示されます。ぜひご覧ください。

3/10(土) あゆなまみな吹奏楽団 第1回演奏会

土浦市民会館 [土浦市TEL 0299-42-4111] 開場午後4時30分 開演午後5時 入場無料 曲目:ジュビリー序曲、パイレーツオブカリビアン、吹奏楽のための抒情的「祭」ほか

3/21(水)まで 一橋徳川家のひなまつり

茨城県立歴史館 [水戸市TEL 029-225-4425] 開館時間 午前9時30分～午後5時 大人・大学生【常設展】150円【特別展】580円 雛人形・雛道具・御所人形を紹介します

3/21(日)まで 第34回筑波山梅祭り

筑波山梅林 [つくば市観光協会TEL 029-836-1111] 筑波山梅林は筑波山の中腹に位置し、4.5haの園内に白梅・紅梅・緑がく梅などが植えられています。ガマの口上や郷土芸能も開催

4/15(日) 森朱美&岩下淳子ジョイントリサイタル

小山市文化センター [小山市TEL 0285-22-9552] 開場午後1時30分 開演午後2時 1階席 2,000円、2階席 1,000円(全席指定) 小山市が生んだ歌とピアノの芸術家の共演

4/28(土) 6/10(日) 吉澤コレクション 板谷波山と佐野市ゆかりの陶芸家たち

佐野市立吉澤記念美術館 [佐野市TEL 0283-86-2008] 開館時間 午前9時30分～午後5時 月曜休館 一般500円 大学・高校生300円 板谷波山《彩磁蔓草文香炉》を展示

5/6(日)まで 企画展 なるほど!ザ・うんち

アクアワールド・大洗 [大洗町市TEL 029-267-5151] 開館時間 午前9時～午後5時 大人 1,800円 小中学生 900円 幼児 300円 「うんち」は動物たちの健康のバロメーター

5/25(金) ストラディヴァリウス サミットコンサート2007

栃木県総合文化センター [宇都宮市TEL 028-643-1013] 開演 午後7時 S席 7,000円 A席 6,000円 B席 5,000円 C席 3,000円 チケット発売中 総額 90億ともいわれる市至上の音色

ぼくたち・わたしたち 1歳になりました

わが家のアイドル



かみはら ゆい
神原 夢生 ちゃん
3月2日生(門井)



ほしの さら
星野 沙来 ちゃん
3月2日生(飯島)



おおわだ はるき
大和田 陽生 くん
3月3日生(本城町)



みやま はづき
宮山 羽月 ちゃん
3月4日生(幸町)



つるみ なおひさ
鶴見 尚久 くん
3月15日生(二木成)



さんどう りん
山藤 凜 ちゃん
3月16日生(榎生)



なかじま そうた
中島 颯汰 くん
3月18日生(松原)



いしかわ るな
石川 瑠菜 ちゃん
3月19日生(関本上)



おおよし なな
大吉 那奈 ちゃん
3月21日生(榎生)



あかま らむ
赤間 星夢 ちゃん
3月23日生(蓮沼)



さぎや みらい
鷺谷 美来 ちゃん
3月23日生(門井)



こやま あきと
古山 聖人 くん
3月25日生(宮後)



はぎわら けいた
萩原 啓太 くん
3月26日生(幸町)



さかいり ゆん
坂入 柚 ちゃん
3月27日生(梶内)



とみた そら
富田 想良 くん
3月28日生(筑瀬)



せお なおき
瀬尾 尚央樹 くん
3月29日生(倉持)



いまじゅく みゆう
今宿 心夢 ちゃん
3月30日生(一本松)



アイドル募集

平成18年5月生まれのお子さんの写真を募集しています。写真裏面に①お子さんの氏名・ふりがな・生年月日・性別 ②保護者氏名・郵便番号・住所・電話番号を明記し、3月30日(金)までに市広報広聴課へ。応募者多数の場合は抽選とします。



6年生が描くわたしの夢・このまちの未来

マイ・ドリーム

長讃小学校

児童数148人



ありむら ゆうた
有村 優太

未来の筑西市はごみが無く、緑が多い美しい市で、人々が安全で元気にすごせるまちになってほしいです。



すぎた こうすけ
杉田 昂翼

筑西市は、緑がいっぱいで、元気な人も体に障害がある人も安心して楽しく住めるまちになってほしいです。



みやた ひかり
宮田 ひかり

将来の夢は獣医になることです。色々な動物とふれ合いながら、新しい発見をたくさんしていきたいです。



こうまる あやの
鴻丸 綾乃

将来、ファッションデザイナーになりたいです。そして私の服を日本中の人が喜んで着てほしいです。



とよぐち あかね
豊口 茜

将来の夢はパティシエになることです。そして私が作ったお菓子を食べてみんなに笑顔になってほしいです。



きしろ あきえ
木城 章恵

将来、筑西市のみんなを明るくさせるような、楽しい絵を描くイラストレーターになりたいです。



さいとう あおい
齋藤 葵

将来の夢は、マジシャンと学校の先生。授業に手品を取り入れて、筑西市の子どもたちに楽しく勉強を教えたい。



しが こうじ
志賀野 光司

将来の夢は、プロ野球の選手になることです。筑西市を緑が多く、ゴミのないきれいなまちにしたいです。



おおたけ まさき
大武 将貴

将来、ほかの人の役に立てるような大人になりたい。筑西市を環境が良く、住みよいまちにしたいです。



おおたけ じゅんや
大武 諄也

将来、セリエAで活躍する世界でも有名なサッカー選手になりたい。筑西市をゴミのないまちにしたいです。

嘉田生崎小学校

児童数123人

図書館に思うこと

筑西市には、中央図書館と明野図書館という、県内に誇れる立派な図書館があります。私は両方の図書館の会員になっています。それぞれに個性があり、魅力があります。

中央図書館は、勤行川のほとり、開放的な立地で、通勤・通学や散歩の途中に気軽に利用することが出来ます。また、明野図書館は、頻繁に音楽会や企画展などを行い、本に興味がない人たちまで、図書館に足を運ばせてしまう工夫をしています。

ただ、残念に思うのは、利用者のマナーの悪さです。ずっとおしゃべりをしている人や携帯電話を利用する人。また、高価な本に赤線が引いてあったり、葉がわりに、折ってあったり。大好きな作家の本がボロボロになっていると、とても悲しい気持ちになります。

図書館は私たちに新しい出会いやチャンスを提供してくれます。本は心に栄養を与えてくれます。大切な図書館をみんなで守っていききたいものです。

匿名女性(成田)

日ごろの暮らしの中で思っていることを投稿してください。匿名可。広報広聴課まで

おたより

スナッパ

みんなでスポーツ 楽しいね 第4回ファミリースポーツデイを開催

2月17日、明野トレーニングセンターで、総合型地域スポーツ育成推進事業の一環として、市体育指導委員会を中心に『ファミリースポーツデイ』を開催。市内の親子約140人が参加し、バランスボールを使った健康体操やスポーツチャンバラなどで体を動かしながら、楽しい時間を過ごしました。



篠崎 隆さん

二宮尊徳のドキュメンタリーを制作
篠崎 隆さん（桑山）

世の中にお世話になった分、映像の分野で恩返しができるかなと思っています」。

二宮尊徳のビデオ・DVDは、希望者に頒布しています。問い合わせは篠崎さん（TEL 57・9905）へ。



「多くの農民を困窮から救った二宮尊徳は、今なお、人びとにとって神様のような存在。地元の偉大な人物の功績を記録として残したいという思いから、撮影に取り掛かりました。今、各市町村は深刻な財政難に陥っていますが、そういうまちの人こそ、この映像を見てほしいですね。どうしたらまちを再興できるか。尊徳の教えに、最大のヒントがあります」と語るのは、映像作家の篠崎さん（73歳）。篠崎さんは、このほど、

二宮尊徳の足跡をたどったドキュメンタリー『報徳に生涯を捧げた男の物語 紀聞 二宮尊徳』（55分）を制作しました。尊徳は、『報徳仕法』といわれる独自の手法で、江戸時代後期に多くの農村を再興した農政家。疲弊した下館藩も、尊徳の指導によって復興しました。映像には、生家や陣屋跡をはじめ、手紙などゆかりの品々とともに、市内・掉ヶ島の尊徳碑や桜川の青木堰などが収められています。

「もともとは、報道番組のディレクターや撮影の仕事をしていました。今も取材となれば、機材を担いで全国どこへでも飛んでいきますよ。今後も郷土の偉人や地元につながる貴重な行事を撮り続けていきたいですね。これまで

——二宮尊徳の教えから
まちおこしのヒントを学んでほしい——



平成18年度 市政功労者等表彰

2月8日、しもだて地域交流センターで、市政功労者等表彰式を開催しました。
叙勲ならびに褒章受章者への記念品贈呈に続き、多年にわたり市の公益や振
興発展のために尽くされた市政功労者の表彰を行い、その功績を称えました。

叙勲・褒章受章者

■瑞宝双光章

鶴義孝、大林浩、大和田保則、内山昭吾、
池田眞、稲川勇夫、竹澤四郎、鈴木稔

■旭日単光章

渡辺延

■瑞宝単光章

山本正藏、小久保忠夫、田宮一、杉山平、
大塚和郎、勝沼昇、安喰久夫

■藍綬褒章

大吉保、松本きよ子、落合勇

市政功労者

【特別功労者】

- 市議会議員 渡邊哲、柳田義廣、相澤年男、荒井英一、清水良、山口幸一郎、茂木忠男、
袖山信勝、皆川容徳、猪瀬雄司、關四郎、赤城正徳、小波俱光

【功労者】

- 統計調査員 飯島榮、飯島昇、伊坂美代子、猪瀬常雄、大崎喜文、神奈川宏、古谷清四郎、
坂入孝、柴山安夫、高田喜一、田上甫、長岡隆、宮田敏、森戸幸三、谷中藤一郎、山崎早苗、
飯村榮、大久保幸一、小泉明、館野登、深谷友子、柳田功、山中正一

- 自治協力員 樫村欣哉、武井茂信

- 民生委員・児童委員 新井香代子、渡邊孝之、能勢久代、高山伸代

- 元公平委員会委員 齋藤實

【表彰状贈呈者】

- 体育指導委員 福本美千代

- 生産組合長 谷中芳三郎

【感謝状贈呈者】

- 健康推進員 大山たき、佐藤勝子

- 西地区更正保護女性会会員 渡辺静子、石島喜美代

【褒状贈呈者】

- 大会等成績優秀者 中野衛（2006年アジアベンチプレス選手権大会 男子60キロ級優勝）

【寄附者】

- 個人 飯泉俊夫、額賀勲

- 団体 アーティストキャンプ実行委員会

〈順不同・敬称略〉

■このコーナーを担当したのは、

いわぶち ゆうこ はすめま
岩渕 祐子さん(蓮沼)

サッカーを通して、ちまたで一般的な経験を

冬晴れの空の下、青々とした芝生の上を小さな身体で元気にサッカーボールを追いかけて、走る子どもたちがいます。彼らは、幼稚園児と小学低学年生が所属するサッカークラブ『協和キッズSMC』の子どもたち。近頃全国的にキッズチームは増えつつあります。発足から3年目の『協和キッズSMC』の活動を紹介します。

楽しみながら身体を動かす

『協和キッズSMC(サッカー・ミッショントクラブ)』には、幼稚園年少児から小学2年生まで23人が所属しています。指導者は、日本サッカー協会公認C級コーチで日本体育協会公認指導員の資格を持つ大塚文雄さん(三郷)。普段は大工さんとして働く大塚さんは、「サッカーを通して子どもたちの体力向上を図り、人との関わりの中で色々な経験をする場を作りたい」と、平成16年にクラブを立ち上げました。ゲーム機の普及や不審者出没の不安などから、自然の遊びの中で他人の痛みを知ることや喧嘩のルールなどを体得する機会が減りつつあると感じたことがきっかけでした。現在は協和地区の子どもたちだけの活動ですが、地区にこだわらず多くの子どもたちに参加して欲しいとのことでした。

練習は毎週日曜日に協和サッカー場で行っています。鬼ごっこやドッジボールなどを取り入れ、楽しみながら身体を動かすことを大事にしています。また、数々のイベントにも積極的に参加。平成17年には、鹿島アント

ラーズ対水戸ホーリーホックの試合で、プロの選手と手をつないで入場するエスコートキッズを務めたり、鹿島スタジアムで試合をしたりと、とても貴重な体験をしました。

自分で考え、答えを見つける

現在、県内では年3回のキッズフェスティバルが開催されていて、その中の1回は協和サッカー場が会場となります。今年度は昨年11月に開かれ、県内外から22チームが集まり試合を行いました。

キッズの試合では、味方も相手もボールに集まって、子どもが『だんご状態』になる動きが多く見られます。大塚コーチは、サッカーを始めたばかりの幼い子どもたちがボールを追いついて『だんご状態』となるこの時期こそ、とても大切だといいます。そこから「次はどうすればボールをもらえるのか」「どうすればゴールを決められるのか」と、子どもたちが自身が考えることができるからです。初めから答えは教えず「自分で考え、答えを見つけて次へ進む」、そんな子どもたちの内側からの力を、とても大切にしているとのこと

とです。またキッズの試合に、オフサイドなど大人のサッカーのルールをすべて当てはめてしまうと、ボールの流れが途切れ途切れとなり、楽しさは半減してしまいます。審判は臨機応変にルールに対応し、子どもたちにわかりやすいように教えています。取材中、試合でゴールを決めた小さなサッカー選手の笑顔は、いきいきと輝いていました。

■入会希望・問い合わせは
大塚文雄 Tel 57-9883へ

